

解答

- 一 ① 真偽 ② 閑静 ③ 慈善
 ④ おかん ⑤ かんじょう ⑥ ほったん
 ⑦ ウ ⑧ イ
 ⑨ さいくつ ⑩ べっせい

二

- 問一 ア
 問二 小心者
 問三 好恵を誕生会からしめだすこと
 問四 エ
 問五 ウ

問六 Ⅱ 甘い Ⅲ 苦い

問七 誕生会に好恵を呼ばなかった気まずさ

問八 ア・エ

問九 好恵の誕生日

問十 ア

問十一 イ

問十二 好恵の理解を得ること

三

問一 スギやヒノキを植林した森の手入れが行き届かない状況

問二 竹林が森を侵食していること。

問三 ア

問四 （人間が）手を入れてきた山に、手を入れないようになった結果だということ。

問五 里山

問六 イメージ

問七 ウ

問八 ア

問九 イ

問十 イ

問十一 人の手

問十二 一方、今、

解説

二

問七 一生に一度しかない十歳の誕生日という特別な日を「好恵はあの日、どんな思いで十代への第一歩を踏みだしたんだろ
 う」「そして今日はどこで何を思い、過こしていたんだろ」という描写から、「私」が好恵を誕生会に呼ばなかったことに
 まずさや罪悪感のようなものを感じていることがわかります。

問十二 好恵からプレゼントをもらい、誕生会に呼ばなかったことを謝ろうと思っ好恵に会いに来たのに、そんなことなど気にし
 ないような好恵の様子に、「私」は、自分は好恵に理解されることを期待していたのだと気づかされます。

三

問四 続く文章で「山が荒れるというのは、もともと人の手が入った山に、人の手が入らなくなった結果起きた必然的帰結にすぎ
 ない」と述べられています。